

式 辞

令和元年度畿央大学卒業証書等授与式において、それぞれの証書を授与される卒業生、修了生の皆さん、誠におめでとうございます。さらに、この日を迎えるにあたり、これまで長きにわたり卒業生・修了生の皆さんを見守り、励まし、支援されてこられたご家族および関係者の皆様方にもお慶びとお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さんにとって一生の思い出となる式典は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止に協力するため従来と同様な形式では行えませんでした。卒業生のために心のこもった式となるよう教職員や関係者の皆様にご尽力いただきましたことを、まず初めに厚く御礼申し上げます。

卒業される皆さんが入学されたころに持っておられた将来への夢は、その実現に向けて具体的になり、今日はその夢に向かって歩み出す出発の日となりました。在学期間中に夢の実現への道筋をつけることができたのは、これまでの皆さんの努力と研鑽によることは勿論ですが、先生方のご指導と職員の方々のご支援、そして切磋琢磨した学友の皆さんがいて、初めて達成できたことであることを深く心に刻んでいただきたいと思います。

今、日本そして世界は大きな変革期にあります。異なる価値観・社会体制を持つ国家と国家の間の、そして、主張の異なるグループのそれも国の枠を超えたグループ間の対立が激化しています。これからの一〇年の間に、地球環境や人類の存亡について、大きな選択の時を迎えるのではないかと予想されています。このような世界規模での社会の変革は、情報技術（IT）とくに人工知能（AI）技術でのブレークスルーにより引き起こされました。私どもは、いわゆる第四次産業革命が進行している社会にいます。ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、バイオテクノロジー、仮想現実など多岐にわたる分野の新しい技術革新が融合し、産業や就業の構造の激変が始まっています。

このような社会においては、インターネットなどから提供される情報の洪水の中から、フェイク（偽り）でなくエビデンスを確認し、正しいと判断できる情報を得ることが必要です。そのためには、皆さんが大学で身につけた専門分野の知識と技術、さらに教養も含めた「知」を社会の技術革新にあわせアップデート（更新）していくことが必要です。すなわち「知」を成長させることです。

専門分野の知識や技術と教養的な知識の広がり、各個人の興味関心により異なりますので、専門分野の知識や技術を「学ぶ」ということについて、意識しておいていただきたいことを述べます。

一つ目は、知識・技術を体系的な体系として捉える視点を持っていただきたいと思います。専門分野の知識内容は、相互に関連しています。知識内容の関連が分かると、その分野の専門知識を体系的に理解することができ、足りない部分やさらに追加が必要な広がりが見えてきます。他の人に、理解していることを説明できるようになります。次々と学ぶことが楽しくなります。知識・技術を体系的に把握できていることは、学習の基礎であり、出発点です。畿央大学で学んだことを体系的な視点から再度見直してください。

二つ目は、知識・技術を「学ぶ」姿勢について、「分かる」ということを重視していただきたいということです。知識や技術は、人類の文化の歴史の中で先人たちが見出し、形にしてきたことです。知識・技術を学ぶ際に、なぜそうなのかと考え、理解し身につけることが必要です。そのためには、この知識や技術は、「何なのか」という疑問を常に持ち、深く考え続けることが重要です。

しかしながら、始めから疑問を持ち、批判的に捉えるのは、簡単ではありません。まずは、知識・技術を「素直に」受け入れ、試してみること、うまくいくことを確認すること、が大切です。その上で、なぜかと、考えることです。考えて、本当の理由を見出してください。それが、自分自身で「分かる」ことにつながります。こういうことだったのかと、分かることは楽しいことです。そして、次のさらなる疑問に繋がっていきます。この繰り返しにより、知識・技術の「深い理解」を得ることができます。

体系的な理解の追求と、疑問を持ち続ける学びの姿勢は、建学の精神の一つである「知をみがく」ことの具体的な実践であると考えます。

三つ目は、本学で学んだ知識・技術を大切に、それらを基に、常に最新の知識と技術を身につけるように、「知」のアップデートを、心がけていただきたいということです。授業や実習で学んだ専門知識と技術に関して、デジタル化されている資料や学習記録は整理してクラウドの個人領域と外部デバイスに保存してください。インターネットから検索して収集した情報は実体（ファイル）の保存が特に重要です。今後、仕事の中では、常に新しい情報を追加し、知識・技術の財産を増やしてください。それらを「成長する個人の知的財産」としてアップデートしながら大切に育てていただくことを期待いたします。

以上述べた三つのこと、知識・技術の体系的把握、疑問を持つことによる「深い理解」、そして追加更新し続ける常に最新の知識と技術、これらを皆さんのお一人おひとりが持たれることにより、将来にわたり社会の変化に柔軟に対応し社会に貢献し続けられることを、期待いたします。

卒業生の皆さんが、社会においても学び続け、人間としてさらに成長されることを心から願っています。そして、自分自身の行いを、人生のあり方を振り返る際には、建学の精神「徳をのばす」、「知をみがく」、「美をつくる」に照らして自省してください。建学の精神が皆さんの成長を図る良い物差しになることを期待いたします。

畿央大学が社会から評価を得られるのは、卒業生の皆さんの活躍、社会への貢献によるものです。皆さんが畿央大学の卒業生として誇りを持って国内で、そして国際的に活躍し、人が幸せに生きられる社会の持続的発展に貢献されることを重ねて期待いたします。皆さんの母校となる畿央大学は皆さんの活動を生涯にわたり応援いたします。

本日は誠におめでとうございます。

令和二年三月十三日

畿央大学 学長 冬木正彦